

かさおか自慢 子ども新聞

区り会会
地づく部
岡ち議化
笠ま協文
子ども新聞部

知られていない

博物館

郷土館は、昭和45年4月に市民病院の南に建設されました。建てたのは笠岡市で大飛鳥遺跡の出土品などを守り、笠岡市の人々に伝えるために、笠岡市民の寄付金や、笠岡市の一般財源、国・県からの補助金を元に建てられました。

玄関を入ると正面に井戸代官の像があります。左に行くとう受付があり、右には展示室があります。笠岡市指定重要文化財の銅戈から、国指定重要文化財の大飛鳥遺跡からの出土品、笠岡市ゆかりの敬業館に関する資料、書、絵図などがあり、幅広い展示資料があります。

(六年 岡本拓真)

かさおかしりつきょうどかん 笠岡市立郷土館



市民病院の海側

こせんきょうどをわたつて隅田川の河口のほうへ歩いていくと、あたらしくできた西ノ浜新橋が見えてきます。その橋のたもとに大きな郷土館のかんばんがあります。そこに郷土館物があります。右の建物は展示室です。



その中には昔のかめやお金があります。左の建物は倉庫です。その中には昔の宝物がおさめてあります。

左右には力石があります。



力石

倉庫の下には鬼瓦が二つあります。



鬼瓦

見たことのない物ばかりでびっくりしました。

(笠岡の子どもは「無料パス」で入れます)

(五年 森兼 慧)

展示室のようす

左の壁には大飛鳥遺跡からの出土品であり、写真にもあるように須恵器、長頸瓶、土師器、大飛鳥遺跡の発掘の過程、砂洲について

のパネルなどの展示品があり、大飛鳥のことがよく分かります。



大飛鳥からの出土品

次に、正面の壁には50年前の笠岡のことがよくわかる写真や笠岡市の歴史年表、鬼瓦の復元想像図、縄文時代の人間の頭を復元したものなどがあります。



50年前の笠岡の写真

次に、中央の展示ケースの中には、国指定重要文化財である奈良三彩小壺や昔のお金、昔の人の頭蓋骨、

長福寺裏山古墳群からの出土品などたくさん展示品があつて見に来た人を飽きさせません。



古墳からの出土品

次に、手前の壁には笠岡市指定重要文化財の銅戈や、津雲貝塚についてのパネルがあります。



海の中から出た銅戈

最後に、右おくの壁には、昔の生活用品がたくさんあります。いろんな物があつてすごいなと思ひました。ぜひ、郷土館に行つてみてください。

(六年 岡本拓真)